



「志成」＝志有る者、事ついに成る＝

PTAだより

2017.12.20
Vol.97

滋賀県立河瀬中学・高等学校PTA会報

PTAの連携を強固に



PTA会長

寺本 英二

平素は、PTAならびに教育振興会活動にご理解とご協力いただきまして、まことにありがとうございます。今年度は、天候等により行事予定が中止や変更になることもなく、順調に開催できました。体育祭での

PTAラウンジでは、会員の皆さまからの貴重なご意見を、アンケートを通して聞くことができました。また文化祭では生徒会からの要請により、模擬店(CoCo壺のカレー)にも取り組みました。さらに校内除草作業では、例年より多くの生徒の参加により400人に迫る人数で取り組むことができました。

ご参加いただきましたみなさまに、改めましてお礼申し上げます。

さて、今年10月31日に神奈川県において9人の死体遺棄事件があり、その被害者の中に3人の女子高校生が含まれていました。この事件で犯人は、ツイッターに自殺を

ほのめかす書き込みを見つけ、「一緒に死のう」と呼びかけアパートに誘い出して殺害したと報道されています。この事件で残念だったのは、自殺を考えるほど追い詰めている生徒がいるということ、「自殺したい」という気持ちをツイッターで発信したこと、保護者・友人・先生・クラスの仲間が彼女たちの様子に気づいて助けることができなかつたことです。この「PTAだより」が皆さんのお手元に届くのは年末だと思います。高校3年生はセンター試験まであと数週間、最終の追い込みで精神的にも不安定になるとき。高校1・2年生と中学生は1年間の総仕上げの3学期を迎えるに当たり、期待や不安を感じやすくなるときだと思います。保護者として、子どもたちの言動の背後にある感情を理解し、接していきたいところだと思います。また、本校において犯罪の被害者や自殺者を出さないよう、PTA・クラス・クラブ活動等子どもたちのつながりを通じて、保護者間や先生方との連携を強固にして行きたいと思います。皆さんのご理解・ご協力を改めてお願い致します。

不易と流行



校長

小梶 健一

平素は、本校教育活動およびPTA活動にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年学校現場では、学習指導法や評価方法、さらには長年続いてきたセンター試験のあり方等様々な改革が行われているところです。生徒の皆さんが、授業中によりアクティブに学び、解答のない問いに対して、自分自身の頭でしっかり考えて、周囲の仲間たちと対話を行い、よりよい解決を得ることが求められる時代になってきました。マスコミや受験雑誌もこれからの大学入試が大きく変化していくことを背景に、新情報を次々に大見出しで伝えています。

仮にうまくいっていても、現状に甘んじようとする姿勢は肯定できるものではありません。人として成長していくためには常に新しい何かを追求する姿勢を持つべきであり、教育界を取り巻くこうした改革も必要なもので

しょう。

とはいえ、日本の改革の伝え方には、少々疑問を持っています。インパクトを重視しすぎるからでしょうか、新たに変更されたことばかりが目立つ形での報道に偏る傾向があるように思われます。「とにかくみんなで話し合っ、より良い方向を模索しよう」という形がクローズアップされすぎると、「自ら学び・自分の心で感じ・自分で責任をもって判断する」という姿勢が忘れられる心配があります。

いつの時代であっても変わらない大切なものとして「不易」という言葉があります。本質を見失わないためにも、まずは、自分自身で学び、感じ、判断することを踏まえたうえで、「流行」を取り入れる姿勢を身に着けてほしいと考えています。



平成29年度前期 学校評価

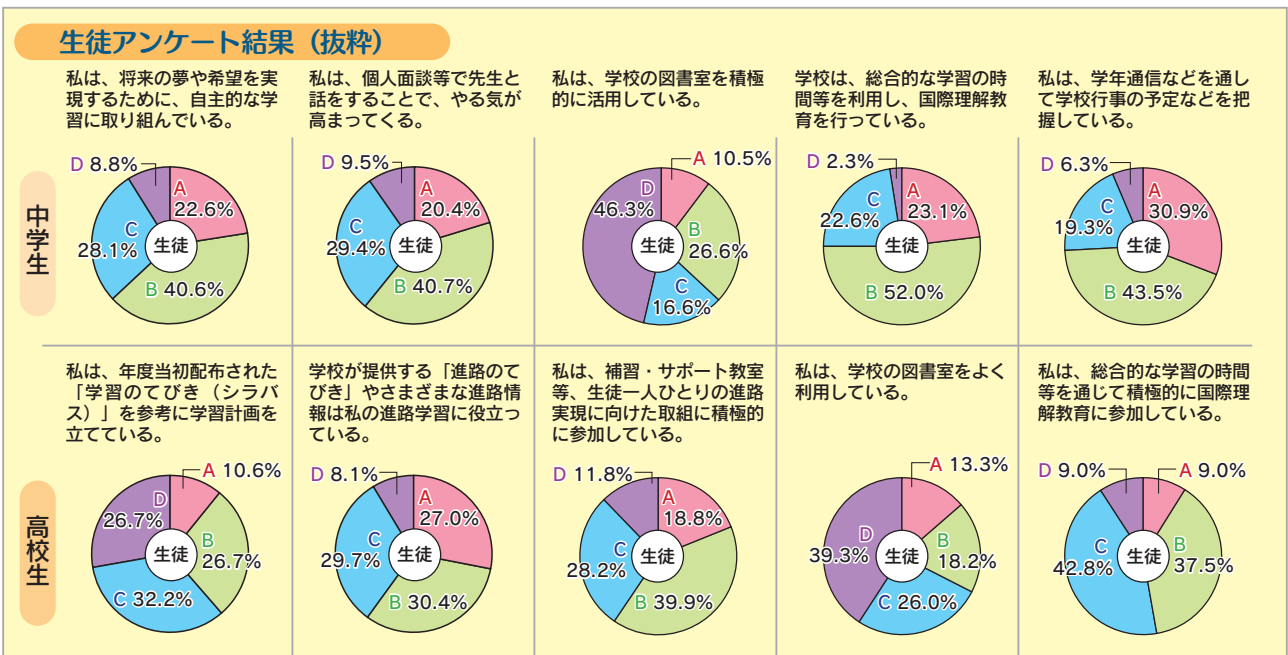
本年度も学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。評価の低い項目について分析し、掲載します。

- 1 学習の手引き（シラバス）について…使用されていない「シラバス」の形式を改め、使い易いものに変更します。
- 2 土曜日の使い方について見直しを検討します。
- 3 多くある蔵書を有効に利用できる手立てを検討中です。
- 4 国際理解教育を推進するために、修学旅行および海外研修先を変更しました。
- 5 生徒の皆さんが将来に目を向けることができるように、各地での研修会や、本校での講演会「アカデミックプログラム」を立ち上げ、様々な体験プログラムを計画中です。
- 6 学校ホームページを新調し、より分かりやすく情報提供ができるよう準備中です。
- 7 同窓会の協力を得て、全教室にプロジェクター等を整備し、先進的な教育ができる体制を整えICT教育に取り組みます。

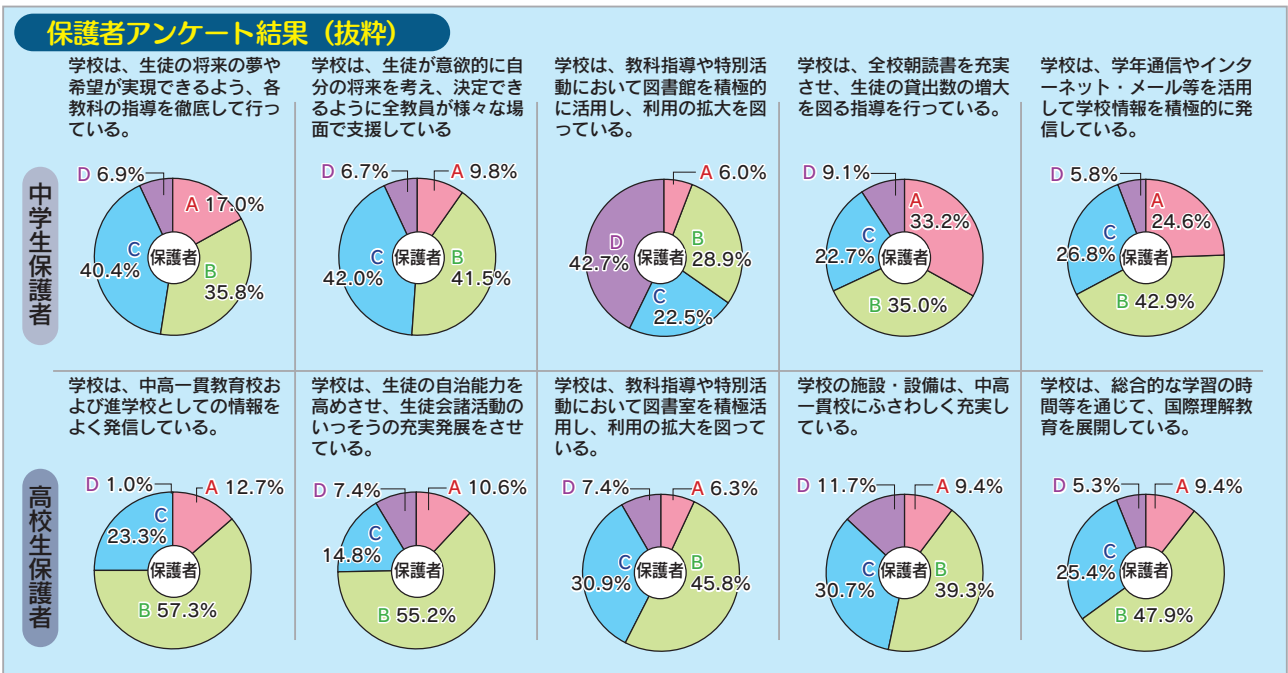
各質問に対する回答は、次の通りです。

A ほぼあてはまる B ややあてはまる C どちらかというと あてはまらない D ほとんど あてはまらない

生徒アンケート結果（抜粋）



保護者アンケート結果（抜粋）



平成29年度全国高等学校PTA連合大会 『静岡大会』



《大会期間》8月24日（木）・8月25日（金）
 《開催会場》（袋井会場）静岡県小笠山総合運動公園
 エコパアリーナ等
 《テーマ》「有徳の人」づくり
 ～未来のために行動する「一人」を育てよう～
 《参加者》辻 哲朗、本田真司、野洲佳子、
 小梶健一（校長）、大矢佐行



《日程》8月24日（木）

9：00～高校生アトラクション
 9：40～開会式・基調講演

「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」

静岡大学名誉教授 小和田 哲男 氏

14：00～〈分科会〉全国高P連研究発表

「ネットトラブルの予防と対策」

第一分科会 学校教育とPTA

～「有徳の人」を育てる学びの場の充実～

第二分科会 進路指導とPTA

～「有徳の人」を育てる希望進路の実現～

第三分科会 生徒指導とPTA

～「有徳の人」を育てる「命を守る教育」の推進～

第四分科会 家庭教育とPTA

～「有徳の人」を育てる家庭教育の充実～

特別第一分科会 「有徳の人」を育てる防災・減災教育の推進 ～防災・減災能力の醸成～

特別第二分科会 「有徳の人」を育てるグローバル教育とコミュニケーション能力の育成



8月25日（金）

9：00～アトラクション
 9：40～記念講演

「寛利夫 これがオレの生きざまだ！」 俳優 寛利夫 氏

11：20～閉会式



有徳の人

PTA副会長 辻 哲朗

雄大な富士山の風景が美しく、潮の香り漂う静岡県で、第67回全国高等学校PTA連合大会が開催されました。今年も全国から9500名が出席する大きな大会となりました。

今回の大会は「有徳の人づくり」です。「有徳の人」とは、個人として自立した人。人との関わり合いを大切に人にする人。より良い社会づくりに参画し行動する人と定義され、より具体的に学ぶ二日間となりました。

基調講演では、大河ドラマで時代考証に携わる小和田哲男氏が、静岡大会に相応しく、戦国時代の武将や小姓

の育て方や、子どもたちに読み書きを理解させるために活動した、農民の記録などをわかりやすく解説され、有徳の人を作ってきた日本の風土を学びました。また分科会では、某キャリア研究所の研究員が、子どもが関わる情報リテラシーについての親の関わり方など、これまでの分科会にはない、より突っ込んだ内容を解説頂き、現代社会に相応しいテーマを学ぶことができました。

先日の近畿大会を通じて、滋賀県内各校对頑張る、多くの仲間と再会しました。お互いの近況を交換し合い、大会終了後も互いが仲間であることを確認し合うことが出来ました。また有徳な人づくりを行う為には、私たち大人が有徳な人であり続けなければなりません。本校で頑張る仲間。各校で頑張る仲間が互いに交歓し、有徳な人づくりが出来れば、これからは邁進します。

総務委員会

PTA研修旅行に参加して

総務副委員長 柳本 智子

《日時》10月11日(水)
 《参加人数》保護者47名
 教員4名計51名
 《研修場所》甲南大学
 (岡本キャンパス)
 神戸ハーバーランド
 (見学・ショッピング)

今年も、河瀬中高PTAによる研修旅行が行われました。先生方を含め51名、バス1台で行きました。最初は、神戸市にある甲南大学の岡本キャンパスに行き、見学をしてきました。甲南大学では、徳・体・知を磨く、人物教育のクオリティ・リーダーを目指すミディアムサイズの総合大学として、隔々まで行き届く教育と、学部を超えて交流していける人物教育改革を推進されているとのこと。そのため、充実した施設があるということで、実際に自分の目でも確かめてきました。そこは、アイ・コモンズというとても大きな建物で、学生の豊かで快適なキャンパスライフをサポートするための福利施設でした。約1300席の食堂や、就職活動を支援するためのキャリアセンター、課外活動の部室、異業種交流ができるオープンスペースなどに加え、フィットネスジムまで完備されている素晴らしいところでした。このような環境の中でなら、きっと、多くのことを学び、楽しい学生生活が送れるでしょう。今から、私が通いたくなるほどでした。続いて、昼食は他の保護者の皆様と、おいしい食事とともに交流することができ、とても貴重な時間となりました。進路のことや子育ての悩みなどについて、たくさんいいお話を聞かせていただきました。その後は神戸ハーバーランドでフリータイムとなり、さらに親睦を深めることができました。来年も是非、多くの方に参加していただきたいとおもいます。今の、大学を知ってもらい、家庭で子供さんと進路についてお話する機会となるはずですが、最後になりましたが、お世話になった先生方、PTAの皆さん、本当にありがとうございました。



生徒指導委員会

挨拶運動に参加して

生徒指導副委員長 田口 仁子

本年度も6月から月1回の挨拶運動を実施しております。JRの時間に合わせまして、できるだけ多くの生徒の皆さんに声をかけられるようにと、年度途中ではありますが、10月から少し集合時間を早めて7:45に集合し、8:20まで、声かけをしていただいております。今後ともよろしく願います。

《参加状況》
 6月(10名) 7月(9名)
 9月(9名) 10月(7名)
 11月(9名)

PTA生徒指導委員会では、毎月15日7:50~8:20に、朝の挨拶運動をしています。毎回8~10人の担当委員さんが7:45に会議室に集合し、打ち合わせ後、それぞれの持ち場へ出発。この日は、先生方や生徒会のみなさんも、校門~河瀬駅付近の横断歩道に立ってくださっています。数人の自転車通学や徒歩の生徒とあいさつするうちに河瀬駅に電車が到着。生徒一団がどっとやってきます。

私は高校で挨拶運動に参加するのは今年が初めてです。難しい年頃の高校生(サンプルはウチの息子達)のこと、きっと挨拶しても返ってくることは少ないだろうな、と思っていました。ところが、きちんと目を合わせ、元気よく挨拶してくれる生徒がとても多かったのです。中には、こちらより先に挨拶してくれる人もいます。さすが、河瀬中高生。終わる頃には、私自身がとても良い気分になっているのに気づき、パワーをもらったと実感しました。改めて、挨拶って気持ちいいものだ!と思いました。願わくは、生徒の皆さんも、私と同じような気持ちになってくれますように。

上り下りの電車合わせて4本ほどが到着し、生徒の波が過ぎた8:20頃に終了です。再度会議室に集まり、報告会をします。皆さんの感想も、「よく挨拶してくれる」というものが多いです。歩道が狭く、朝は急いでいる車も多いので、ひやりとする場面もあります。信号のない横断歩道を渡るときや、車道を走る自転車は特に気を付けてほしいと思います。これからも、事故なく元気に毎朝登校し、笑顔で挨拶するという良き習慣が続いていくことを願っています。

環境整備委員会

校地内除草作業+校内清掃

PTA副会長・環境整備委員長 野洲 佳子

8月19日(土)に、PTA環境整備活動として、校地内除草作業+校内清掃(トイレ・生徒昇降口)を行いました。早朝よりPTA保護者、教員、中高の部活動の生徒、あわせて約393名の参加がありました。草刈だけでなく、溝掃除、昇降口・トイレの掃除などにも取り組んでいただきました。蒸し暑い天気でしたが、最後まで丁寧な作業をしていただき、おかげさまで、きれいな環境で気持ちよく2学期を迎えることができました。

例年夏休み後半に実施してる環境整備活動を、PTA全員の方に参加の協力をお願いすることになって5年目になりました。今年は保護者95名、教職員28名、中高の部活動の生徒270名、合計393名という過去最高の参加者で活動をさせて頂くことができました。当日は朝から猛暑となり、かなりのハードワークであったと思いますが、校門前の水路からグラウンド奥のフェンスまで、広い校地もすっきりとなり、子ども達も持ちよく2学期を迎えてくれたと思います。

このような300人を超えるたくさんの方に参加頂ける活動となりましたが、場所によっては危険であったり、負担の大きい箇所などもあり、委員会としては、当日の役割分担およびの見直し、休憩場所の設置、飲み物を提供するタイミングなど、来年度以降に向けて改善を検討し、気持ちよく参加していただけるようにと思っています。

奉仕活動ではありませんが、普段はあまり出会えない先生方や保護者の方々、生徒さんとも一緒に汗を流しながら、交流ができる絶好の場であると思っています。暑い中、参加していただきました皆様、トラック、草刈り機を貸して下さった方々、本当にありがとうございました。来年度も、校地内除草作業は実施予定をしています。ご協力よろしくお願い致します。

2学期の主な大会・コンクールの結果

高校

【運動部】

◎硬式野球部（秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会）
1回戦 0-5 八幡工業 ●

〈滋賀県秋季総合体育大会〉

◎陸上競技部
男子ハンマー投 2年生 川西隼司 46m47 3位
女子砲丸投 2年生 森野綾乃 9m41 4位
男子円盤投 1年生 北川亮介 33m49 6位

◎サッカー部
1回戦 0-4 伊吹 ●

◎バドミントン部
団体戦 男子1部リーグ
1回戦 3-1 東大津 ○
2回戦 2-3 彦根総合 ●
3回戦 0-3 石山 ●

[近畿大会]ダブルス 鈴木・川島ペア ベスト6
初戦敗退

女子2部トーナメント
1回戦 3-1 愛知 ○
2回戦 2-3 玉川 ●

◎卓球部
団体戦 男子 1回戦 2-3 彦根東 ●
女子 1回戦 0-3 高島 ●
個人戦 男子ダブルス 2年生 綿貫稜真 ベスト32
女子ダブルス 2年生 橋本涼帆、薮田紀香
ベスト16

◎男子バスケットボール部
2回戦 64-70 大津商業 ●

◎女子バスケットボール部
2回戦 123-8 野洲 ○
3回戦 31-125 滋賀短大付 ●

◎女子ソフトテニス部
団体戦 1回戦 0-3 大津商業 ●

◎男子ハンドボール部
予選リーグ 12-19 米原 ●
7-24 近江兄弟社 ●

◎女子ハンドボール部
予選リーグ 8-16 立命館守山 ●
7-15 八日市 ●
15-10 米原 ○

◎女子バレーボール部
予選グループ戦 1-2 堅田 ●
2-0 能登川 ○
決勝トーナメント戦 0-2 綾羽 ●

◎剣道部
団体戦 男子 1回戦 5勝0敗 近江兄弟社 ○
2回戦 0勝1敗4引き分け 守山 ●
個人戦 男子 5名参加
1年生 伊藤遼 4回戦進出（ベスト32）
女子 2名参加

【文化部】

◎放送部
〈滋賀県総合文化祭〉
1年生 北田愛 アナウンス部門 2位
2年生 宇野ひかり アナウンス部門 3位
上記2名は全国総合文化祭放送部門に出場

◎科学部
滋賀県科学教育研究会 会長賞（滋賀県3位）
「間伐による土壌表層の栄養塩類への影響」

◎吹奏楽部
滋賀県総合文化祭吹奏楽部門出場
第45回関西マーチングコンテスト 銅賞

◎写真部
滋賀県総合文化祭写真部門写真展に出展

◎文芸部
滋賀県高校総合文化祭 文芸コンクール
詩部門 1位 3年生 田中翼
俳句部門 1位 3年生 田中翼
3位 2年生 中川晏奈

◎ESS部
第27回ミシガンカップ滋賀県高校生英語スピーチコンテスト
1年生 糟淵真衣 4位入賞
朝日大学第33回高等学校英語弁論大会
2年生 丸 菜 本大会出場

【税に関する作文】

●滋賀県租税教育推進連絡協議会賞
濱田 将史 1年 「夢と希望のある社会のために」
●彦根税務署長賞
平田 峻将 1年 「より良い日本の『目』をつくる」
古川 可笑 1年 「税の必要性」

中学

〈秋季総合体育大会 ブロック大会〉

◎軟式野球部 5-4 豊日中 ○
（本大会は悪天候で中止。後日の強化練習会のもの）

◎陸上競技部 13名出場

◎卓球部
団体戦 男子 優勝
1回戦 3-2 中央中 ○
準決勝 3-1 彦根中 ○
決勝 3-0 東中 ○
女子 優勝
1回戦 3-2 愛知中 ○
準決勝 3-1 稲枝中 ○
決勝 3-2 東中 ○
個人戦 男子 有元幸平 準優勝
松下武尊 8位
女子 西村知夏 優勝
立岡真歩 準優勝

◎剣道部
団体戦 予選リーグ 敗退
個人戦 3名出場

◎女子バレーボール部
0-2 中央中 ● 0-2 愛知中 ●
0-2 南中 ●

◎女子バスケットボール部
86-22 甲良中 ○
35-48 秦荘中 ●

〈その他大会〉

◎卓球部
・大阪国際招待卓球大会滋賀県予選
カデットの部 立岡真歩 3位 近畿大会出場
・強化練習会（県大会） 女子県3位
・関西アーバン銀行エコカップ 北部地区予選
団体 男子3位、女子準優勝

【税に関する作文】

●大阪国税局長賞
永峰 穂乃香 3年 「未来の理想像」
●滋賀県納税貯蓄組合連合会長賞
北村 彩菜 3年 「皆が幸せになるために」
●彦根税務署長賞
白根 拓実 3年 「暮らしを守る税への希望」

中学1年

スタープログラム

11月28日(火)、大阪工業大学から田原弘一先生をお招きし、「宇宙は夢ではない!」というテーマで授業をしていただきました。地球ゴマや車輪を使っての実験を通して、生徒たちは宇宙を身近に感じたのではないかと思います。

中学2年

スタープログラム

11月24日(金)は、愛知学院大学教養部から野田大志先生をお招きして「日本人が日本語を学ぶ!」のテーマで、現代日本語学の授業をしていただきました。「焼鳥」という言葉に含まれる多くの意味やニュアンスを考えたり、辞書でも適切に説明しきれていない「すみ」と「かど」の意味の違いをグループで考え交流しました。

職場体験学習

ひとまわり成長した2年生

中学2年主任 高山 淳子

9月4~8日の5日間、県内22カ所の事業所にて職場体験学習を行いました。学年教員が訪問した3~4日目には、それぞれの事業所ではつらつと活動するみんなの姿を見ることができました。「気持ちのよい挨拶や返事」「相手を思いやる心」など、必要なことは職場でも学校でも共通だと気づき、その後の学校生活に生かされているように思います。

中学3年

数学は10月から、英語も11月から先取り学習が始まりました。(国語は1月開始予定です。)分厚い参考書に加え、同じくらい分厚い解答解説冊子が配られ、教室では悲鳴が上がったとか。しかしながら日々の様子からは、新鮮な気持ちで前向きに高校の学習に取り組む姿が見られます。

スタープログラムでは、11月27日(月)、29(水)に各クラス、3時間にわたって「太陽の科学」と題して、滋賀大学教育学部理科教育准教授の大山真満先生に太陽についての講義とCDを用いて分光光度計を作る実習などを指導していただきました。

税に関する作文



▲大阪国税局長賞
中学3年1組 永峰穂乃香



▲国際交流プログラム

修学旅行

「学べ! 楽しめ! ∞(無限)の宝庫 東京 2017」のローガンのもと、異文化交流、大学理解、仲間との絆作りと、大変充実した三日間となりました。今年初めて取り入れた隅田川&東京湾クルーズでは、みんな大興奮! 東京の夜景を満喫するとともに、学年の絆がより一層深まる良い機会となりました。



▲隅田川&東京湾クルーズ



▲ディズニーシー



▲バーガー作り



▲東大生とのゼミ体験

高校 1 年

勇気と実行力

1 年学年主任 廣田耕一郎

『60%の見通しで判断が出来たら、決断することだ。後は勇気と実行力である。』

これは松下幸之助さんの言葉です。人生ではその節々で決断を迫られます。物事を決断する時は、60%の判断がつけば、後は勇気と実行あるのみです。ここで人生の差が大きくなるのです。第1学年では、卒業後の進路実現に向けて、大学入試センター試験や個別試験など、試験科目や学部、学科について調べ学習に取り組んできました。見通しが持てれば、後は学習を深めることです。

高校 3 年

親子で「のぞむ（臨む・望む）」 進路実現を

3 年学年主任 石田 宗己

高校三年生は、希望する進路の実現のため、二期に実施された三度の模擬試験の結果を踏まえてひたすら受験勉強に励み、弱点の補正を図っていると看做します。生徒は受験校の最終検討と受験計画について保護者の方と十分話し合ってくれたことと思います。今後は健康に留意して受験本番を迎えてほしいものです。

高校 2 年

「感動体験」北海道修学旅行

2 年学年主任 藤田 悦司

高校生活最大の行事である修学旅行を10月8日から3泊4日の日程で実施しました。白老でのアイス学習、学年全員が参加したラフティング、札幌・小樽での班別自主研修と、北海道の自然や文化等を一人ひとりが実感することができました。名物のジンギスカン、海鮮物を堪能し、行く先々でたくさんのお土産と思い出を手土産に帰路につき、無事修学旅行を終えました。



海外派遣

去る7月29日(土)から8月9日(水)までの12日間、本校の短期海外派遣研修が行われ、カナダのブリティッシュコロンビア州へ中学生5名、高校生16名の合計21名が派遣されました。現地では、ホストファミリー宅へ滞在して語学学校へ通いました。語学学校では、日本人だけではなく



他国から来た生徒と一緒に学ぶため、日本語使用禁止で1日中英語を使って過ごしました。ホームステイ先では、最初は生活様式の違いやなれない英語での生活に戸惑うこ



ともありましたが、日がたつにつれてホストファミリーとも打ち解け、自分の思っていることを積極的に話すようになっていきました。休日にはホストファミリーとバーベキューを楽し

んだり買い物や観光に出かけたりして貴重な体験をしました。また、ブリティッシュコロンビア大学でのキャンパスツアーでは、構内にいる人にインタビューをして英語を話す楽しさを体感しました。最終日にはホストファミリーとの別れを惜しみつつ、感謝と感動を胸に帰国の途に就きました。



生徒指導課

ヒヤリ・ハット

生徒指導課主任 北村 優

今年も年の瀬を迎える時期になりました。今年一年を振り返って、年の初めに持った目標はどれだけ達成できたでしょうか。振り返ることで新たな目標を立てることができ、さらなる高い目標に向けて進んでいくことが可能になります。

さて、今年私は一年を通じて、全校集会のたびに皆さんに話していたことがあります。それは、ちょっとした不注意から起こる事故に遭わないように気を付けましょうといった内容です。今年の4月から現在まで、本校生徒が交通事故の加害・被害にあった数は、12件に上ります。そのうち、9件が1学期中に起こりました。このままのペースでいくと大変な数字になっていたところでしたが、2学期に入り激減しました。しかし、安心してはいけません。

『ハインリッヒの法則』（またはヒヤリハットの法則）というものがあります。

「重大事故の陰に29倍の軽度事故と300倍のニアミスが存在する」というものです。何かをしているときに「ヒヤリ!」「ハッ!」としたら、立ち止まって考えてみましょう。そうしないとっと大きな困難や事故に巻き込まれるということです。「そんなはずじゃなかった」「いつもやってることだから」「つい、勢いで」とった行動が、あなたたちの冬休みを、または人生を台無しにしてしまわないように。

進路指導課

子どもが成長できる環境を選ぼう

進路指導課主任 笹原 法子

最近目にした二つの出版物を通して「大学選び」について書いてみたいと思います。

一つは、鳥取大学から届いた「地方国立大の魅力」というタイトルのリーフレットです。高校一年生には全員配付しましたが、見ていただきましたか? 「金銭面」「生活面」「学生の特徴」「教育面」「研究面」「就職面」「課外活動」「入試」「大学進学の意味」の9項目から「地方国立大の魅力」を簡潔に紹介しています。これを見ていると、大学に通う期間は単に「大学教育」を「受ける」時間なのではなく、人間として「成長」し、その後の人生の基盤を作る時間なのだということを再認識します。人がよりよく成長するためには、本人の力以外に、適切な環境と適度な負荷と適切な支援が必要です。一人ひとり多様な個性をもつ子どもたちなのですから、よりよく成長できる場も多様なはず。広い視野で、その子にとって価値のある学校はどこなのか、子どもと一緒に探していただきたいです。

もう一つは、「大学の實力」という本です。膨大なデータの意味を読み解くと、「大学選び」の本質とか勘違いに気づききっかけをくれます。「人生100年」という表現も耳にするようになった昨今は、「大学選び」というごく身近な問題であっても、古い価値観で縛られずに、新しい価値を生み出す思考が私たちに求められていると痛感します。

人権・厚生課

人権・みんなで話そう②

～ドラえもんから考える～

10月13日(金)、人権・みんなで話そう②を行いました。教員9名、生徒27名の参加がありました。今回の題材はドラえもんです。のび太に、ドラえもん、しずかちゃんにスネ夫にジャイアン。そして今回は多目君が出てきました。できないキャラののび太よりも、さらにいろんなことができない多目君。そんな多目君にのび太は…。そこで出てきたのが“配役入れ替えビデオ”です。今までのび太が多目君にしてきたことが、いかにおせ

人権厚生課主任 元持 重子

っかいであり友情とは呼べないほどの扱いだっただか。いつの間にかそこには優劣関係ができあがっていました。ビデオからのび太は大切な物に気づかされました。それは人を大切に思う気持ち・信頼にこたえる気持ちだったのです。

参加してくれた人からは、「のび太の行動は誰もがしうることだと思う。」「普段の自分を振り返ることができた。」「自分を客観的に見ることの難しさを感じた。」「配役入れ替えビデオは実際にはない。今日のようにいろんなことを感じたり、自分のいろんな面に気づかされたりすることを積み重ねていくことが大切なのだと思った。」などの感想がよせられました。

人は優位に立つと誰かを見下す性質を持ち合わせています。だからこそ、ひとり一人が自分の心の奥にある醜い部分に気づくこと、そして何より、相手を大切に思うことが必要なのではないでしょうか。

PTAだより
vol.97

2017.12.20.(水)発行
滋賀県彦根市川瀬馬場町975
滋賀県立河瀬
中学校・高等学校
TEL 0749-25-2200
TEL 0749-28-2935
<http://www.kawase-h.shiga-ec.ed.jp>